

教育研究評議会議事録（第185回）

日 時：令和元年12月26日（木） 15時00分～16時44分

場 所：事務局2階 第一会議室

出席者：岩淵、小川、喜多、藤代、佐々木、藪、宮本、西崎、山本（昭）、遠藤、船崎、倉島、佐藤、上村、宇佐美、伊藤、松岡、丸山、田代、菊地、長田、萩原、八代、山本（欣）、山下

欠席者：比屋根、関野、横山

配付資料

- | | |
|-------|------------------------------|
| 議題1-1 | 岩手大学大学院学則の一部改正（案）について |
| 議題1-2 | 岩手大学学位規則の一部改正（案）について |
| 議題2 | 令和2年度学年暦（案） |
| 議題3 | 岩手大学における大学発ベンチャーの認定に関する規則（案） |
| 報告1 | 岩手大学 大学の将来構想と今後の取組について |
| 報告2-1 | 教員人事に関する報告について（人文社会科学部） |
| 報告2-2 | 教員人事に関する報告について（人文社会科学部） |
| 報告2-3 | 教員人事に関する報告について（理工学部） |
| 報告2-4 | 教員人事に関する報告について（農学部） |
| 報告3 | 学長・副学長会議報告 |
| 報告4 | 2020年度岩手大学推薦入試 の実施状況 |
| 報告5 | 令和元年度入試委員会（第5回）記録（案） |
| 報告6-1 | いわて高等教育コンソーシアム(令和元年度事業計画（案）) |
| 報告6-2 | いわて未来づくり機構 |

議事に先立ち、前回議事録について原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1．岩手大学大学院学則等の一部改正について

学長から、岩手大学大学院学則等の一部改正について諮る旨が述べられ、次いで、喜多理事から、資料に基づき、岩手大学大学院学則及び岩手大学学位規則の一部改正について説明があり、岩手大学大学院学則の一部改正は誤字を修正することとし、審議の結果、了承された。

なお、岩手大学大学院学則は令和2年4月1日から施行することとし、岩手大学学位規則は令和元年12月26日から施行することとした。

2．令和2年度学年暦について

学長から、令和2年度学年暦について諮る旨が述べられ、次いで、喜多理事から、資料

に基づき、令和2年度学年暦について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

3. 岩手大学における大学発ベンチャーの認定に関する規則の制定について

学長から、岩手大学における大学発ベンチャーの認定に関する規則の制定について諮る旨が述べられ、次いで、藤代理事から、資料に基づき、大学発ベンチャーの認定と、円滑かつ適正な支援を図るために制定することの説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、この規則は、令和元年12月26日から施行することとした。

4. その他

なし

報 告

1. 文科省との徹底対話の提出調書について

佐々木理事から、資料に基づき、12月20日(金)が提出期限となっていた文科省との徹底対話の提出調書について、学長と次期学長が「1.第4期以降も見据えた大学の将来構想について」を追記したこと、各項目のエビデンスを添付したこと、部局からの意見を踏まえて以下を追記したこと等の報告があった。

- ・22頁(世界的な頭脳循環)

「国際水準の獣医学教育を提供するため、ヨーロッパ獣医大学協会(EAEVE)における国際認証を目指す。」

- ・24頁(地域の中核としての連携強化)

「岩手大学の特徴であるフィールド実践教育を中心とした農学教育・研究拠点を目指し、岩手県の基盤産業である農業を支え、活性化させる人材を育成する。」

なお、学長から、文科省との徹底対話は2月17日(月)16~18時に決定したことの付言があった。

2. 教員人事に関する報告について

人文社会科学部長から2件、理工学部長から1件、農学部長から1件、資料に基づき、教員人事について報告があった。

なお、小川理事から、教員の配置換えについては規則上学長が認めれば可能となっており、手続きについて今後整理したい旨の付言があった。

3. 学長・副学長会議報告について

学長から、資料に基づき、学長・副学長会議(第164~165回)について報告があった。

4. 入試結果の報告について

喜多理事から、資料に基づき、入試結果の報告(学部(AO入試、推薦入試)まで、編入学)、大学院(推薦入試・第1期、第2期))について報告があった。

5. 入試委員会の報告について

喜多理事から、資料に基づき、入試委員会（第5回、臨時）について報告があった。

また、喜多理事から、理工学部のおすすめ入試において出題ミスがあったことから、チェック体制の強化を図ることが述べられ、さらに、個別試験中にミスを発見した場合は、迅速に対応するよう要請があった。

6. その他

- ・喜多理事から、資料に基づき、いわて高等教育コンソーシアムの令和元年度事業計画の実施状況について報告があった。
- ・藤代理事から、資料に基づき、いわて未来づくり機構で検討している「地域連携プラットフォーム」の検討状況について報告があった。

学長から、次回の教育研究評議会を、1月23日（木）の15時から開催することが述べられた。